

外国語科

I フランス語の学習目標

- (1) 外国語の学習を通じて、外国語とその外国語が使われている文化背景について学ぶ。
- (2) 外国語の学習を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢を育てる。
- (3) 外国語の学習を通じて、情報や意向を理解し、自己表現する実践的なコミュニケーション能力を身につける。

II フランス語の6年間の科目構成と学習内容

| | | 「科目」と学習内容 | 発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等 |
|------|----|---|---|
| 中学段階 | 1年 | 開講しない | 開講しない |
| | 2年 | <ul style="list-style-type: none"> ・初歩的な会話をできるようにする。 ・フランス語の仕組みを理解する。 ・フランスの基本情報、フランス語の歴史、フランス語圏、フランス文化について学習し、他との共通点や違いを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・文法の演習 ・筆記体でグリーティングカードの作成 ・絵本の翻訳 ・フランスのゲーム、歌、アニメ |
| | 3年 | <ul style="list-style-type: none"> ・日常会話をできるようにする。 ・フランス語の仕組みに慣れる。 ・フランスの歴史や文化について学習し、他との共通点や違いを理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ALTとの学習 ・聞き取り練習 ・寸劇の作成と発表 ・文法や仏検の演習（希望者は仏検受験） ・児童書の翻訳 ・フランスの映画 |
| 高校段階 | 4年 | <ul style="list-style-type: none"> ・読解や仏作文に慣れる。 ・旅行や留学で使える会話表現を増やす。 ・フランス文化について学習し、自ら考えて表現する能力と態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文法の知識や語彙力を強化する活動 ・聞き取り練習 ・会話文の作成と発表 ・記事の読解 ・和文仏訳 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） ・児童書の翻訳 |
| | 5年 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な読解や仏作文をできるようにする。 ・旅行や留学で使える会話表現をさらに増やす。 ・フランス文化や現代事情について学習し、自ら考えて表現する能力と態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文法の知識や語彙力を強化する活動 ・聞き取り練習 ・会話文の作成と発表、スピーチ ・記事の読解 ・和文仏訳 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） ・共通テストの演習 |
| | 6年 | <ul style="list-style-type: none"> ・フランス語文法の基礎を固める。 ・フランス語の運用能力を高める。 ・大学入試に対応できる能力を身につける。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文法の知識や語彙力を強化する活動 ・聞き取り練習 ・スピーチ ・自由仏作文 ・仏検の演習（希望者は仏検受験） ・大学入試問題の演習 |

* 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。

教科名 外国語
 科目名 フランス語
 対象 2 学年選択

I 学習到達目標

- 1 挨拶や自己紹介の表現を学び、それを使って初歩的な会話をできるようにする。
- 2 名詞や形容詞の性数、動詞の活用などを学び、フランス語の仕組みを理解する。
- 3 フランスの基本情報、フランス語の歴史、フランス語圏に関する知識を整理した上で、年間行事を通してフランス文化について学習し、他との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めると共に発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、初歩的な文法事項や会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『プティ・シュマン（改訂版）』（大塚陽子、白水社、2017年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------------|---|---|---|------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 5 | pp.6-7: アルファベ、出会いの挨拶など Leçon 1 (pp.10-13): 数詞 0~10、注文・依頼する、丁寧な呼びかけなど pp.8-9: 綴りと発音の関係 | ・フランスの基本情報 ・フランス語の歴史 ・フランス語圏 | 30 | |
| | 6 7 1 学期 期 末 考 査 | Leçon 2 (pp.14-17): 誰・何・いくらなのか尋ねる/言う、数詞 11~20 など pp.8-9: 綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・フランスのアニメ ・フランス文化（ヴァカンス） | | |
| 夏休み 宿 題 | | | ・筆記体でグリーティングカードの試作 | | |
| 二 学 期 | 9 10 | Leçon 3 (pp.18-21): 職業や身分を尋ねる/言う、受付や窓口で用件を伝える、提示する、数詞 21~30 など pp.8-9: 綴りと発音の関係 | ・筆記体でグリーティングカードの作成 | 30 | |
| | 10 11 2 学期 期 末 考 査 | Leçon 4 (pp.22-25): 好き嫌いを尋ねる/言う、どこ・いくつなのか尋ねる/言う、話せる言語を言う、数詞 31~69 など pp.8-9: 綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・フランスのゲーム ・フランス文化（ノエル） | | |
| 冬休み 宿 題 | | | | | |
| 三 学 期 | 1 2 3 学期 期 末 考 査 | Leçon 5 (pp.26-29): 持っているものやあるものを言う、身体の調子を尋ねる/言う、人にすすめる、数詞 70~100 など pp.8-9: 綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・フランスの歌 ・フランス文化（イースター） ・絵本の翻訳 | 19 | |
| | | | | 計 78 | |
| 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に3回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語
 対象 3 学年選択

I 学習到達目標

- 1 日付や時刻、待ち合わせの表現などを学び、それを使って日常会話をできるようにする。
- 2 前置詞と定冠詞の縮約、疑問形容詞、様々な不規則動詞の活用などを学び、フランス語の仕組みに慣れる。
- 3 フランスの歴史に関する知識を深め、日常生活を通してフランス文化を学習し、他との違いや共通点を理解する。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 2クラス4展開で選択授業を行う。
- 2 教科書や補助教材を活用し、基礎を固めるとともに発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 『プティ・シュマン（改訂版）』（大塚陽子、白水社、2017年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------------|---|--|--|------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 5 | Leçon 6 (pp.30-33)：行き先を尋ねる/言う、基本的な前置詞、数詞 101～9999 など pp.8-9：綴りと発音の関係 | ・フランスの歴史 | 30 | |
| | 6 7 1 学期 期 末 考 査 | Leçon 7 (pp.34-37)：いつなのか尋ねる/言う、優先する/比較する、日付を尋ねる/言う、月や曜日など pp.8-9：綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・フランスの映画（歴史） | | |
| 夏休み 宿 題 | | | ・仏検の演習 | | |
| 二 学 期 | 9 1 0 | Leçon 8 (pp.38-41)：意志を尋ねる/言う、天気表現など pp.8-9：綴りと発音の関係 | ・フランスの学校生活 | 30 | |
| | 1 0 1 1 2 学期 期 末 考 査 | Leçon 9 (pp.42-45)：時刻を尋ねる/言う、年齢を尋ねる/言う、主語になる代名詞 on など pp.8-9：綴りと発音の関係 | ・学期末試験 ・フランスの映画（学校生活） | | |
| | 冬休み 宿 題 | | | | |
| 三 学 期 | 1 2 3 学期 期 末 考 査 | Leçon 10 (p.47)：交通手段を尋ねる/言う Leçon 11 (p.51)：会う約束をする、時を表す表現 pp.8-9：綴りと発音の関係 プリント教材：レストランでの会話 | ・学期末試験 ・パリの交通手段 ・フランスの食文化 ・児童書の翻訳 | 19 | |
| | | | | 計 78 | |
| 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に3回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語 (初中級)
 対象 4 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 中学で学習した文法事項を整理した上で、知識を深めて読解や仏作文に慣れる。
- 2 学習者の関心に応じて、旅行や留学で使える会話表現を増やす。
- 3 学習者の関心に応じて、フランス文化について学習し、それについて自ら考えて表現する能力と態度を養う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 中学より継続してフランス語を学ぶ高校1年生に加え、言語変更を希望する高校1年生も対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や様々な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) 『とことんフランス語 -フランス語文法のレシピ-』 (山崎吉郎他、朝日出版社、2012年)
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------|---|--------------------|---|---------------------------------|----|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 | | Leçon 0 (pp.1-3): アルファベ、綴り字記号、発音 Leçon 1 (pp.6-7): 名詞の性と数、冠詞 Leçon 2 (pp.8-9): 主語人称代名詞、avoir の直説法現在 Leçon 3 (pp.10-11): être の直説法現在、提示表現 Leçon 4 (pp.12-13): -er 動詞の直説法現在 | ・記事の読解 | 30 |
| | 5 | | | | |
| | 6 7 | 1 学期 期 末 考 査 | Leçon 5 (pp.14-15): 疑問文、疑問文に対する肯定の答え Leçon 6 (pp.16-17): 否定文、否定疑問文、否定の de 数詞 1~20 (p.7, p.9) | ・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・フランス文化 | |
| | 夏休み 宿 題 | | | ・単語コンクールの準備 ・仏検の演習 | |
| 二 学 期 | 9 | | Leçon 7 (pp.18-19): 形容詞の女性形と複数形 Leçon 8 (pp.20-21): 形容詞の位置と男性単数第 2 形など Supplément 1 (p.22): 名詞の女性形と複数形 Leçon 9 (pp.24-25): -ir 動詞の直説法現在、人称代名詞強勢形 Leçon 10 (pp.26-27): 所有形容詞、指示形容詞 | ・単語コンクール ・記事の読解 | 30 |
| | 10 | | | | |
| | 11 12 | 2 学期 期 末 考 査 | Leçon 11 (pp.28-29): aller / venir の直説法現在、近接未来・近接過去、前置詞 à / de と定冠詞の縮約 Leçon 12 (pp.30-31): 命令法、様々な否定表現 数詞 21~79 (p.11, p.13, p.15) | ・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・フランス文化 | |
| | 冬休み 宿 題 | | | ・仏検の演習 | |
| 三 学 期 | 1 | | Leçon 13 (pp.32-33): 疑問副詞、疑問形容詞 Leçon 14 (pp.34-35): 疑問代名詞 Leçon 27 (pp.62-63): 非人称構文 数詞 80~100 (p.21) 数詞 100~ (p.102) 序数 (p.103) | ・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・児童書の翻訳 | 18 |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |
| | | | | 計 78 (2単位) | |
| 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験 (年に3回) ・単語コンクール (年に1回) ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語 (中級)
 対象 5 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 様々な時制や代名詞を学習し、簡単な読解や仏作文をできるようにする。
- 2 学習者の関心に応じて、旅行や留学で使える会話表現をさらに増やす。
- 3 学習者の関心に応じて、フランス文化や現代事情について学習し、それについて自ら考えて表現する能力と態度を養う。

II 授業の進め方 (授業形態等)

- 1 初中級クラスでフランス語を学んだ高校2年生を対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や様々な会話表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書 (準教科書) 『とことんフランス語 -フランス語文法のレシピ-』 (山崎吉郎他、朝日出版社、2012年)
 『仏検公式基本語辞典 3・4・5級 新訂版』 (APEF編、朝日出版社、2020年)
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 |
|-------|---|--------------------|---|--------------------------------------|----|
| | | | 「教科書」の学習内容 | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | |
| | 4 | | Leçon 16 (pp.38-39): 比較級 Leçon 17 (pp.40-41): 最上級 Leçon 18 (pp.42-43): 特殊な優等比較級・優等最上級 Leçon 19 (pp.44-45): 過去分詞、直説法複合過去 | ・記事の読解 | 30 |
| | 5 | | | | |
| | 6 7 | 1 学期 期 末 考 査 | Leçon 20 (pp.46-47): 人称代名詞の種類、補語人 称代名詞の位置 Leçon 21 (pp.48-49): 補語人称代名詞の語順 Supplément 2 (p.50): 人称代名詞強勢形、強調構文 | ・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・フランス文化や現代事情 | |
| | 夏休み 宿 題 | | | ・単語コンクールの準備 ・仏検の演習 | |
| 二 学 期 | 9 | | Leçon 22 (pp.52-53): 関係代名詞(qui / que) Leçon 23 (pp.54-55): 関係代名詞(dont / où) Leçon 25 (pp.58-59): 代名動詞 Leçon 26 (pp.60-61): 代名動詞の直説法複合過去 Leçon 28 (pp.64-65): 直説法半過去 | ・単語コンクール ・記事の読解 | 30 |
| | 10 | | | | |
| | 11 12 | 2 学期 期 末 考 査 | Leçon 30 (pp.68-69): 指示代名詞 Leçon 31 (pp.70-71): 直説法単純未来 Leçon 34 (pp.78-79): 中性代名詞 en Leçon 35 (pp.80-81): 中性代名詞 y / le | ・学期末試験 ・会話文の作成と発表 ・フランス文化や現代事情 | |
| | 冬休み 宿 題 | | | ・仏検の演習 | |
| 三 学 期 | 1 | 3 学期 期 末 考 査 | Leçon 24 (pp.56-57): 受動態 Leçon 29 (pp.66-67): 直説法大過去 Leçon 32 (pp.72-73): 直説法前未来 Leçon 36 (pp.82-83): 条件法現在 Leçon 37 (pp.84-85): 条件法過去 Leçon 38 (pp.86-87): 現在分詞、ジェロンディフ | ・学期末試験 ・スピーチ ・共通テストの演習 | 18 |
| | 2 | | | | |
| | 3 | | | | |
| | | | | 計 78 (2単位) | |
| 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験 (年に3回) ・単語コンクール (年に1回) ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト | | | | |

教科名 外国語
 科目名 フランス語（上級）
 対象 6 学年自由選択

I 学習到達目標

- 1 今まで学習した文法事項を整理した上で、未習のものを学習し、基礎を固める。
- 2 仏仏辞書を活用しながらフランス語のテキストを読み解き、フランス語の運用能力を高める。
- 3 大学入試問題の演習をして、それに対応できる能力を身につける。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 中級クラスでフランス語を学んだ高校3年生を対象とする。
- 2 教科書を活用して基礎を固めると共に、補助教材も導入して発展的な学習を行う。
- 3 定期的にテストや発表を行い、基本的な文法事項や様々な慣用表現の定着を図る。

III 教科書・補助教材

教科書（準教科書）『とことんフランス語 -フランス語文法のレシピ-』（山崎吉郎他、朝日出版社、2012年）
 『デクリプタージュ [改訂版]』（モーリス・ジャケ、舟杉真一、白水社、2022年）
 『仏検公式基本語辞典 3・4・5級 新訂版』（APEF編、朝日出版社、2020年）
 補助教材 プリント教材など

IV 学習計画

| 学 期 | 月 | 学 習 内 容 | | 授業時数 | 備考 | |
|------------|-------------|---|--|---------------------------------|----------------|--|
| | | 「教科書」の学習内容 | 副教材・その他の学習内容 | | | |
| 一 学 期 | 春休み 宿 題 | | なし | なし | | |
| | 4 | | 『とことんフランス語』 既習の時制の復習 (pp.8-87) | 60 | | |
| | 5 | | Leçon 39 (pp.88-89)：直接話法・間接話法(平叙文) Leçon 40 (pp.90-91)：直接話法・間接話法(疑問文、命令文) Leçon 41 (pp.92-93)：接続法 Leçon 42 (pp.94-95)：接続法現在 Leçon 43 (pp.96-97)：接続法過去 | | | |
| | 6 7 | 1 学期 期 末 考 査 | 『とことんフランス語』 既習の代名詞の復習 (pp.8-81) Leçon 15 (pp.36-37)：疑問代名詞(性数の変化をするもの) Leçon 32 (pp.72-73)：所有代名詞 Leçon 33 (pp.74-75)：関係代名詞(前置詞+qui / 前置詞+lequel) Supplément 3 (p.76)：関係代名詞(前置詞+quoi) | ・学期末試験 ・スピーチ | | |
| 夏休み 宿 題 | | | ・単語コンクールの準備 ・仏検の演習 | | | |
| 二 学 期 | 9 10 | | 『とことんフランス語』 Leçon 44 (pp.98-99)：単純過去 Supplément 4 (p.100)：接続法半過去、接続法大過去 『デクリプタージュ』 Unité 1-6 (pp.6-29) | ・単語コンクール ・仏検の演習 ・共通テストの演習 | 60 | |
| | 11 12 | 2 学期 期 末 考 査 | 『デクリプタージュ』 Unité 7-12 (pp.32-55) | ・学期末試験 ・スピーチ | | |
| | 冬休み 宿 題 | | | ・大学入試問題の演習 | | |
| 三 学 期 | 1 2 3 | 3 学期 期 末 考 査 | 総まとめ | ・大学入試問題の演習 | 36 | |
| | | | | | 計 156 (4単位) | |
| | 評 価 | 以下の資料を用いて、3つの観点「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価を行う。 ・学期末試験（年に2回） ・単語コンクール（年に1回） ・授業への参加態度、発表 ・提出物、宿題、小テスト | | | | |

